

河川の適切な維持管理

長田 隆尚 議員  
(新政みえ/亀山市選出)



問

「みえ県民力ビジョン 行動計画(仮称)最終案」では、土砂堆積により機能が低下している河川の適正な維持管理を行うとされています。

現在、堆積土砂についてはどのような方法でどれくらい撤去しており、どれくらい残っていますか。

また、今後の撤去目標量をお伺いします。

答

堆積土砂対策のうち、県の事業として行う方法には、河川の維持管理による方法と河川の改修工事に併せて行う方法があり、平成20年度から22年度までの3年間で約70万m<sup>3</sup>を撤去しました。

今年度末の堆積土砂は、台風等による新たな堆積もあり、195万m<sup>3</sup>になると推計しており、引き続き計画的な撤去のための予算確保に努めます。

○自然災害に強い地域づくり ほか



堆積土砂撤去後の河川

「みえ産業振興戦略」の方向性

水谷 隆 議員  
(自民みらい/いなほ市員弁郡選出)



問

日本経済は、円高による産業の空洞化などが懸念されており、そのような状況で県として何ができるのか、難しい局面を迎えています。

知事は、11月18日に開催された第1回「みえ産業振興戦略」検討会議で「企業の肌感覚に近い使える戦略をまとめたい」と意気込みを示されたようですが、会議での意見も踏まえた今後の検討の方向性について伺います。



答

検討会議での意見交換を踏まえ、「成長産業」「立地環境整備」「海外展開」「内需振興」「中小企業」「ひとづくり」などの政策テーマが見えてきました。

今後はテーマごとの分科会でさらに議論を進め、企業の肌感覚に近いそして具体的なプロジェクトが動き出す戦略を目指して検討を進めていきます。

○障がい者支援 ほか

南部地域活性化プログラム

藤根 正典 議員  
(新政みえ/熊野市南牟婁郡選出)



問

来年度の組織改正では、現在の東紀州対策局は南部地域活性化局に改編され、東紀州の振興は、「南部地域活性化プログラム」の中で取り組まれるとのことですが、県南部という広いエリアの活性化にあたっては、同じ課題でも地域による温度差や取り組みの方向性も違うと思います。南部地域活性化局では、各地域の振興と東紀州の振興をどのように進めるのですか。

答

プログラムを展開にあたっては、県があらかじめ方向性を示すのではなく、対象地域の市町が中心となり、それぞれが直面する課題とアプローチ方法を示していただいた上で支援する仕組みを作りたいと考えています。東紀州地域振興は取り組みの柱の一つとして位置付け、引き続き後退させることなく対応していきます。



○紀伊半島大水害からの復旧・復興 ほか

中山間地域における公共交通の確保と名松線の活用について

青木 謙順 議員  
(自民みらい/津市選出)



問

中山間地域の公共交通の確保は、買い物、通勤、通学、通院など生活全般に関わる課題ですが、具体的な対策も含めどのように考えているのかお聞かせください。

また、沿線住民にとって欠かせない社会基盤である名松線について、復旧作業を着実に進めるとともに、地域の振興に生かしていくためどのように取り組もうとしているのでしょうか。



JR名松線

答

公共交通の維持・確保には、地域住民も参画し、取り組んでいくことが必要です。今年度、国や市町、交通事業者や住民による新たな協議会を立ち上げ、バス交通のネットワーク化の取り組みを進めています。名松線は、津市、JR東海と復旧に取り組んでおり、津市が進める地域振興策等を支援しています。

○三重の医療問題 ほか

文中の傍線部分については、5ページに用語解説を掲載しております。